

# 事業報告

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

## 1. 会社の現況に関する事項

### (1) 事業の経過及びその成果

令和5年度の我が国経済は、コロナ禍を乗り越え緩やかな回復基調で推移しました。円安により輸出企業の業績が伸びるとともに、インバウンドの好調により飲食や宿泊などのサービス消費が増加しましたが、資源価格や消費者物価の上昇、人手不足等により内需は力強さを欠き、景気の本格的な回復には至りませんでした。

こうした中、当社は春日井市の「西の玄関」であるJR勝川駅に再開発事業の中核施設として再開発ビル（ホテル棟）を管理運営し、株式会社ホテルプラザ勝川に賃貸する事業や、ルネック、勝川駅南口ビル共有床、春日井市コミュニティ住宅の一般貸出などの不動産を賃貸する事業に加え、市営勝川駅前地下駐車場、市営勝川駅南口立体駐車場、ルネックスポーツクラブなどの勝川駅前公営施設、コミュニティ住宅の指定管理業務を春日井市より受託することで勝川駅周辺の活性化と魅力あるまちづくりに寄与してまいりました。

令和5年度の当社の業績は、当社管理建物のテナント契約移行により売上は前期比55百万円増の493百万円となりました。営業利益と営業外損益を加えた経常利益は、一部テナントの退去等により前期比16百万円減の57百万円となりました。

また、当期純利益は9百万円減の40百万円となりました。

### (2) 設備投資の状況

特記事項はありません。

### (3) 資金調達の状況

特記事項はありません。

### (4) 対処すべき課題

令和6年度は、老朽化した自社管理施設・設備の更新を進め、日常の保守管理と速やかな設備改善の実施により入居者・テナントの満足する物件づくりを進めてまいります。公の指定管理者業務におきましては、春日井市との協議を踏まえ、多様化する利用者のニーズにより効果的、効率的に対応できるよう取り組んでまいります。子会社ホテルプラザ勝川の業績はコロナ禍の落ち込みより回復してまいりましたが、ひきつづき安定経営に向けた支援を行ってまいります。また、ホテル棟権利者会・共用部管理組合の管理者として建物・設備等ハード面の改善を進めてまいります。株主のみなさまにおかれましては、今後ともご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

## (5) 直前3事業年度の財産及び損益の状況

区 分	令和2年度 第25期	令和3年度 第26期	令和4年度 第27期	令和5年度 第28期(当期)
売上高 (百万円)	392	414	438	493
経常利益 (百万円)	66	70	73	57
当期純利益 (百万円)	9	9	49	40
1株当たり 当期純利益	662円7銭	660円38銭	3,480円15銭	2,818円99銭
総資産 (百万円)	1,440	1,459	1,527	1,557
純資産 (百万円)	531	541	590	630

## (6) 重要な子会社の状況

会社名	資本金	当社の議決権比率	主要な事業内容
株式会社 ホテルプラザ勝川	10百万円	100%	ホテルの運営

株式会社ホテルプラザ勝川の当期の売上高は975百万円、経常利益は37百万円、当期純利益は37百万円を計上しております。

当社と重要な子会社 株式会社ホテルプラザ勝川の単純合算した売上高は全体で1,468百万円であり、経常利益は94百万円、当期純利益は77百万円となりました。

(7) 主要な事業内容

① 不動産賃貸

- ・ ホテルプラザ勝川
- ・ ルネック
- ・ 勝川駅南口ビル
- ・ 勝川駅北立体駐車場
- ・ 月極駐車場
- ・ コミュニティ住宅一般貸出

② 公の施設の指定管理者

- ・ 勝川駅前公営施設
- ・ 勝川駅前地下駐車場
- ・ 勝川駅南口立体駐車場
- ・ コミュニティ住宅共用部管理

(8) 当事業年度末における従業員の状況

従業員数	前期末比増減数
5名	—

(注) 上記従業員数には出向社員1名を含みます。なお、パートタイマー3名は含みません。

(9) 当事業年度末における主要な借入先

借入先	借入金残高
春日井市	812,700千円

## 2. 会社の株式に関する事項

- (1) 発行可能株式総数 60,000株
- (2) 当事業年度末における発行済株式の総数 14,202株
- (3) 当事業年度末における株主数 156名

## 3. 会社役員に関する事項

### (1) 取締役及び監査役の状況

氏名	地位	重要な兼職の状況
石黒 直樹	代表取締役社長	春日井市長
加藤 達也	代表取締役専務	春日井市 副市長
天野 敦	常務取締役	株式会社 ホテルプラザ勝川 取締役
松尾 隆徳	取締役	株式会社 ホテルプラザ勝川 取締役会長
大辻 誠	取締役	ナビエース 株式会社 代表取締役社長
森田 仁	取締役	王子製紙 株式会社 春日井工場 事務部長
堀部 努	取締役	勝川駅南口ビル共有者組合 理事長
堀部 哲司	取締役	ルネック共有者組合 理事長
林 敬治	取締役	株式会社 大垣共立銀行 常務取締役
篠田 篤志	監査役	篠田篤志税理士事務所 代表
鈴木 義久	監査役	東春信用金庫 理事長

(注) 1. 松尾 隆徳氏・大辻 誠氏・森田 仁氏・堀部 努氏・堀部 哲司氏・林 敬治氏は、社外取締役であります。

2. 監査役全員は、社外監査役であります。

3. 取締役の異動は次のとおりであります。

取締役 大辻 誠氏は令和6年5月10日をもって辞任いたしました。

# 貸借対照表

(令和6年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負債及び純資産の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>【資産の部】</b>		<b>【負債の部】</b>	
流動資産	237,426	流動負債	123,734
現金及び預金	223,648	1年以内返済長期借入金	85,500
売掛金	9,011	リース債務	2,975
貯蔵品	553	未払費用	10,614
立替金	3,633	未払法人税等	8,185
前払費用	1,566	未払消費税等	0
未収入金	1,195	前受金	14,091
貸倒引当金	△2,182	預り金	2,368
固定資産	1,320,540	固定負債	803,498
有形固定資産	991,248	長期借入金	727,200
建物	506,349	リース債務	8,220
建物附属設備	115,745	預り保証金	68,078
構築物	3,166		
機械装置	0	負債合計	927,232
工具器具及び備品	11,488	<b>【純資産の部】</b>	
リース資産	21,580	株主資本	630,734
土地	332,918	資本金	410,600
無形固定資産	4,383	資本剰余金	300,000
ソフトウェア	4,383	資本準備金	300,000
投資その他の資産	324,908	利益剰余金	△79,865
関係会社株式	290,000	繰越利益剰余金	△79,865
出資金	170		
長期前払費用	34,738	純資産合計	630,734
資産合計	1,557,967	負債・純資産合計	1,557,967

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

# 損益計算書

〔 令和 5年4月 1日から  
令和 6年3月31日まで 〕

(単位：千円)

科 目	金 額	
売 上 高		493,177
売 上 原 価		371,375
売上総利益		121,801
販売費及び一般管理費		62,262
営業利益		59,538
営業外収益		
受取利息及び配当金	2	
雑 収 入	1,036	1,039
営業外費用		
支 払 利 息	525	
雑 損 失	2,117	2,643
経 常 利 益		57,935
特別損失		
固定資産除却損	0	0
税引前当期純利益		57,935
法人税、住民税及び事業税		17,900
当 期 純 利 益		40,035

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

# 株主資本等変動計算書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位：千円)

	株 主 資 本				
	資本金	資本剰余金		利益剰余金	
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	410,600	300,000	300,000	△119,901	△119,901
当期変動額					
当期純利益				40,035	40,035
当期変動額合計				40,035	40,035
当期末残高	410,600	300,000	300,000	△79,865	△79,865

	株主資本	
	株主資本合計	純資産合計
当期首残高	590,698	590,698
当期変動額		
当期純利益	40,035	40,035
当期変動額合計	40,035	40,035
当期末残高	630,734	630,734

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

# 個別注記表

## 重要な会計方針

1. 有価証券の評価基準及び評価方法  
関係会社株式・・・総平均法による原価法を採用しております。
2. 固定資産の減価償却の方法
  - (1) 有形固定資産（リース資産を除く）  
定額法を採用しております。
  - (2) 無形固定資産（リース資産を除く）  
定額法を採用しております。
  - (3) リース資産  
所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産  
自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法を採用しております。
3. 引当金の計上基準  
貸倒引当金・・・債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については法定繰入率等を参考として、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。
4. 消費税等の処理方法  
税抜方式を採用しております。

## 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度の末日における発行済株式の総数  
普通株式 14,202株



# 監 査 報 告 書

第28期事業年度（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）の事業報告、計算書類、これらの附属明細書その他取締役の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

## 1. 監査の方法及びその内容

各監査役は、取締役及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。子会社については、子会社の取締役及び監査役等と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を受けました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### （1）事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### （2）計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

令和6年5月9日

勝川開発株式会社

監査役 篠田篤志 ㊞

監査役 鈴木義久 ㊞